

ntt.com



教育クラウドプラットフォーム 「まなびポケット」のご紹介

2017年3月31日
NTTコミュニケーションズ株式会社



Transform your business, transcend expectations with our technologically advanced solutions.

1. ご提案の背景
 - 1 教育におけるICT活用の動向
 - 2 NTTコミュニケーションズの強み

2. 教育クラウドプラットフォームサービス「まなびポケット」のご紹介
 - 1 「まなびポケット」の概要
 - 2 教育分野でのICT利用の課題
 - 3 「まなびポケット」の機能、特長

3. 「まなびポケット」の利用シーン

4. お問い合わせ先

国による教育の情報化の推進

- 2020年までに1,200万人の公教育を対象に、児童生徒一人ひとりに1台のタブレットを配布する政府方針
- 総務省による教育分野でのクラウド活用実証事業*
- 文科省による教育でのICT活用の提案**

教育分野のICT化の遅れ

- 予算確保が厳しく公教育のICT化に遅れ

低価格な技術の普及

- 教育分野でのクラウド技術の普及
- EdTech***の進展と教育コンテンツの拡大
- 安価なデバイスの出現

教育クラウド プラットフォーム 「まなびポケット」

特徴

- クラウドだから導入/利用ともに容易
- 基本利用/一部コンテンツが無料
- 高いセキュリティと利便性
- 多彩な利用シーン

* 総務省「先導的教育システム実証事業」 http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/sendou.html

** 文科省「学びのイノベーション事業」 <http://jouhouka.mext.go.jp/school/innovation/>

*** Education × Technologyの造語。教育とテクノロジーを融合させ新しいイノベーションを起こすビジネス領域。

文部科学省より、学校現場でのICT環境充実（一人一台環境）に向けた方向性が提示

「教育の情報化加速化プラン」 – 2016年4月

- 学校活動のあらゆる側面へICTの積極活用を図るための政策課題と対応方針を整理し、2020年度までに教育の情報化を強力に推進
 - ICT活用の在り方の明確化、それに基づく機器等の計画策定
 - スマートスクール構想実証、教育委員会・学校の体制整備

「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会・最終まとめ」 – 2016年7月

- 授業・学習面と校務面の両面でICTを積極的に活用
 - 「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善や個に応じた学習の充実
 - 情報モラル・情報活用能力の育成
- (アクションプラン) 児童生徒一人一台の教育用コンピュータ環境の実現を目指し、段階的な整備を行う
 - 教員自身が授業内容や子供の姿に応じて自在にICTを活用し授業設計を行う

『「デジタル教科書」の位置付けに関する検討会議・最終まとめ』 – 2016年12月

- 学校においてデジタル教科書を円滑に使用できるようにするためには、様々な環境面での整備が必要
 - 一定以上の機能を有した教育用コンピュータ等の情報端末が児童生徒一人一台ずつ用意され、（中略）ネットワーク環境が整備されている環境であることが理想的

数多くの教育委員会様のICT環境整備や、クラウド環境構築のサポート
教育の情報化に関する調査・実証事業の実施

東京都教育庁様

- ・ 都立学校ICT計画用機器
- ・ 都立ICTセンタークラウド基盤
- ・ 「ICTパイロット校」クラウド基盤

横浜市教育委員会様

- ・ 横浜市教育情報ネットワーク
- ・ 校務支援システムクラウド基盤（小中学校）
- ・ ICT環境整備（普通教室、パソコン教室、職員室）

その他の自治体様

- ・ 20自治体以上にクラウド基盤を提供中

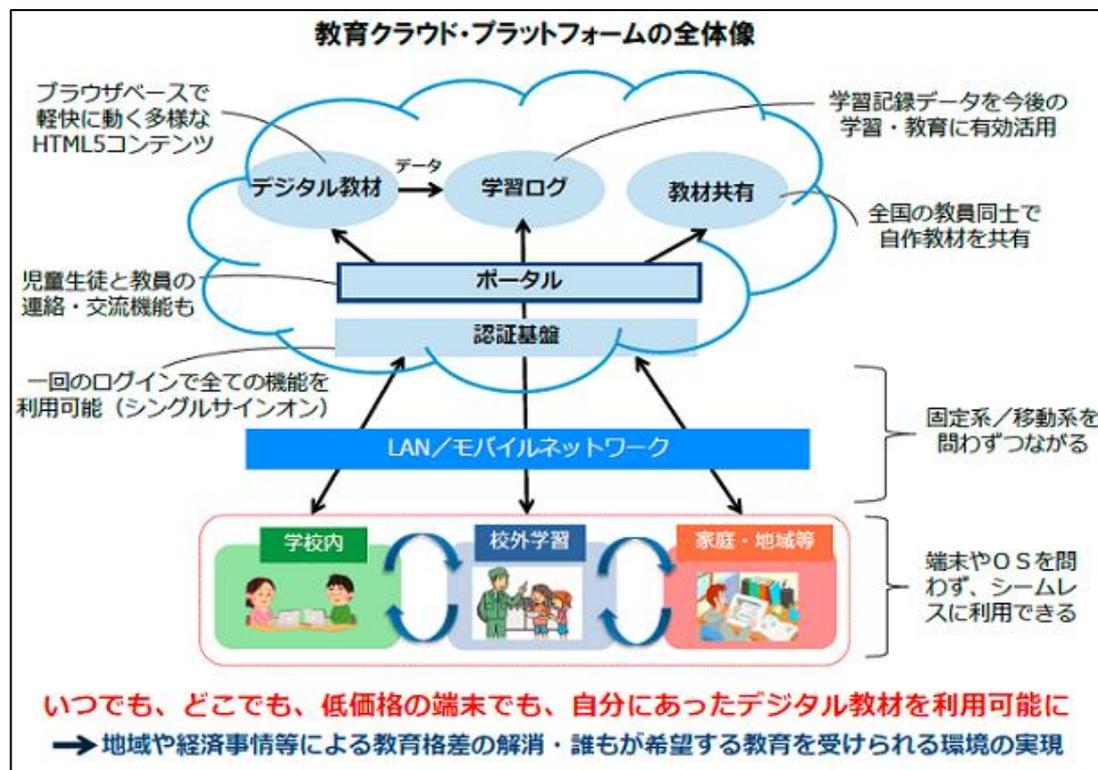
文部科学省・総務省様

- ・ フューチャースクール推進事業（2012～2014年度）
- ・ 学びのイノベーション事業（2013～2015年度）
- ・ **先導的教育システム実証事業**（2015～2017年度）

クラウドコンピューティング等の最先端技術を活用することで、多種多様な端末に対応し、低コストの教育ICTシステムを実現する実証事業

- HTML5によるコンテンツ提供
- フルクラウドでの学習環境実現
- モバイルネットワーク等の活用

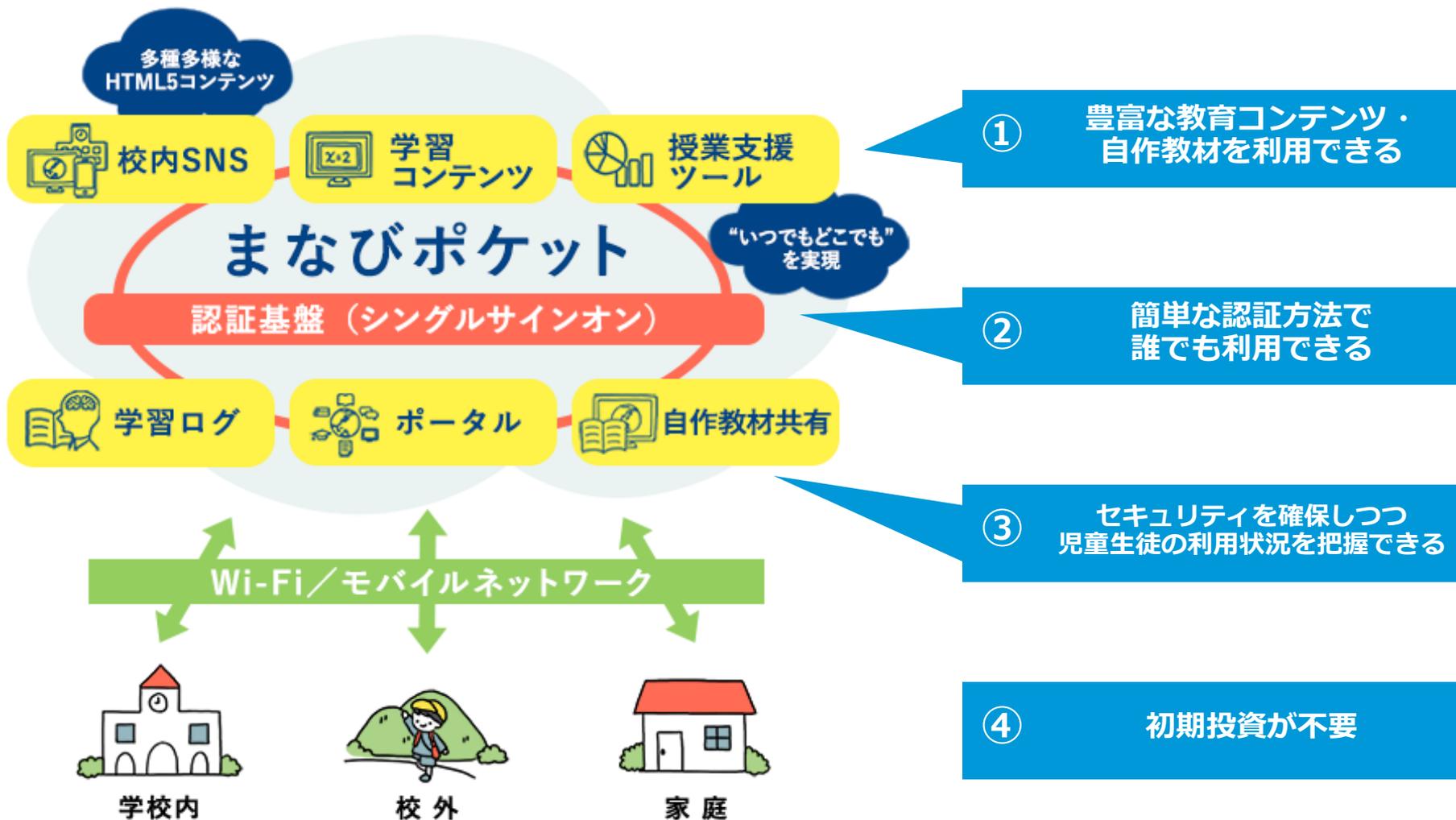
⇒ **学校・家庭でのシームレスな学びの実現**



(総務省ホームページより)

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_johoka/sendou.html

2. 教育クラウドプラットフォーム「まなびポケット」のご紹介



2-2. 教育分野におけるICT利用の課題

教育分野でのICTの利用には、大きく4つの課題があります。

教員	ICTの活用方法が分からない	<ul style="list-style-type: none">• ICT機器の効果的な導入とそれらを活用した指導法の工夫・改善• アクティブ・ラーニングに向けた、具体的なICTの活用法検討
	教員のICTリテラシにバラつきがある	<ul style="list-style-type: none">• 各学校、教員間でICT機器の利用程度に差がある(年間10~200時間)• ICT機器を効果的に活用するためには、教員のICT活用指導力の向上が重要
教育委員会/ 自治体	情報管理が大変そう	<ul style="list-style-type: none">• 情報の一元管理と、正確性の確保• 2020年に向けた教育系情報セキュリティの抜本的強化• OSバージョンアップ等の既存ソフトの利用不可
	予算確保が難しい	<ul style="list-style-type: none">• ICT教育機器の導入には莫大な予算が必要• 小さな自治体にとって、構築・運用・保守費用が割高

全国ICT教育首長協議会「わが町のICT教育の課題と取組」(2016年12月9日)より

まなびポケットの導入で、これらの課題が解決できます。

課題

解決策：まなびポケット

ICTの活用方法が
分からない

①

豊富な教育コンテンツ・
自作教材を利用できる

教員のICTリテラシに
バラつきがある

②

簡単な認証方法で
誰でも利用できる

情報管理が大変そう

③

セキュリティを確保したクラウドで
児童生徒の利用状況を把握できる

予算確保が難しい

④

初期投資が不要

2-3. 「まなびポケット」の機能、特長

① 豊富な教育コンテンツを利用できる

豊富な教育コンテンツから、教員や児童生徒が使いやすいものを選択可能
資料や動画による教員自作教材も学内・他校間で共有可能

【提供コンテンツ種別】 (HTML5)

授業支援システム

個別学習

シミュレーション教材

動画クリップ

【自作コンテンツ】

Office文書等

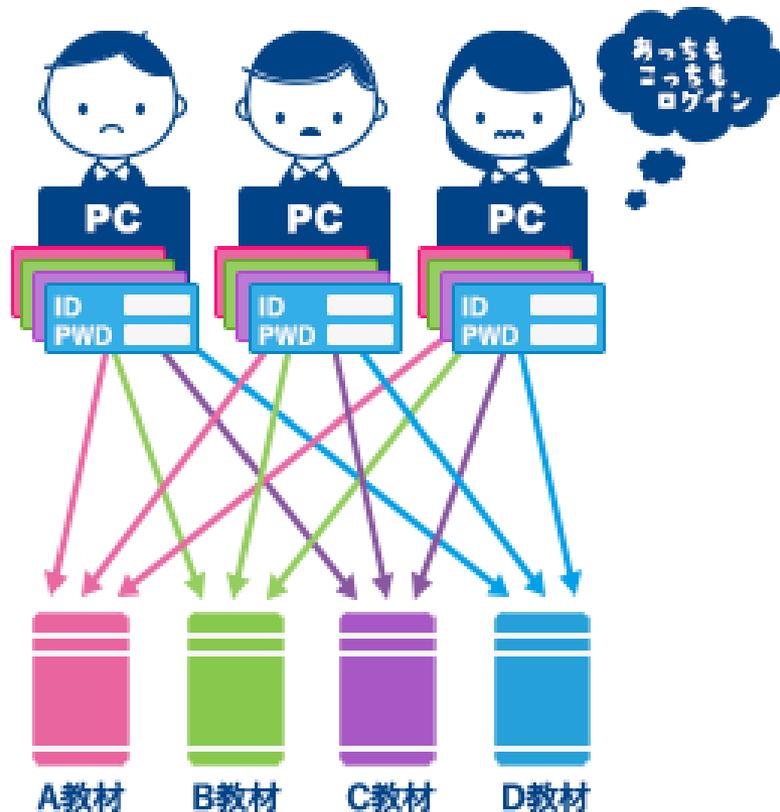
動画

※利用可能コンテンツについてはお問い合わせください。

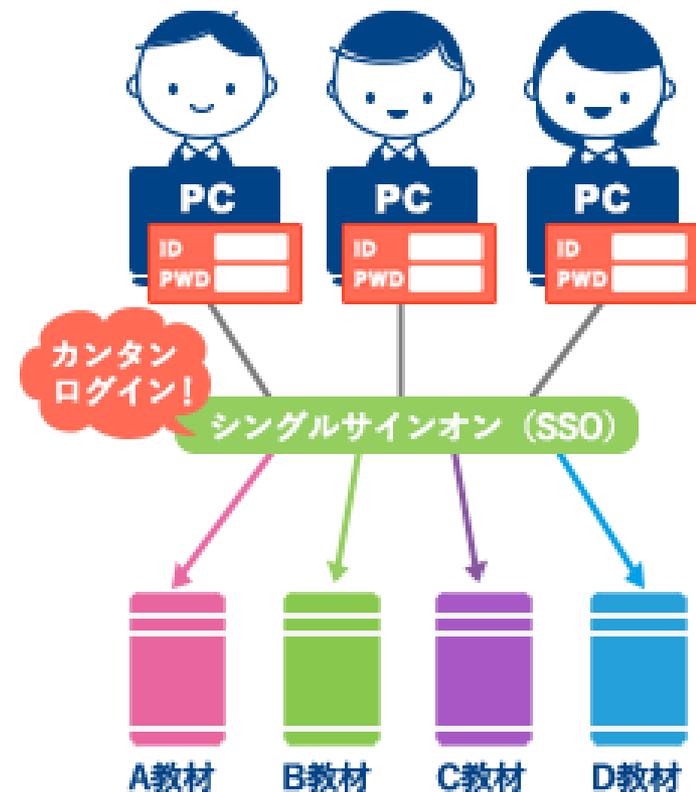
② 簡単な認証方法で誰でも利用できる

一度のID/Password入力ですべてのコンテンツにログイン
コンテンツ毎のログインやユーザ名/パスワードの管理が不要

【一般的なコンテンツ利用】

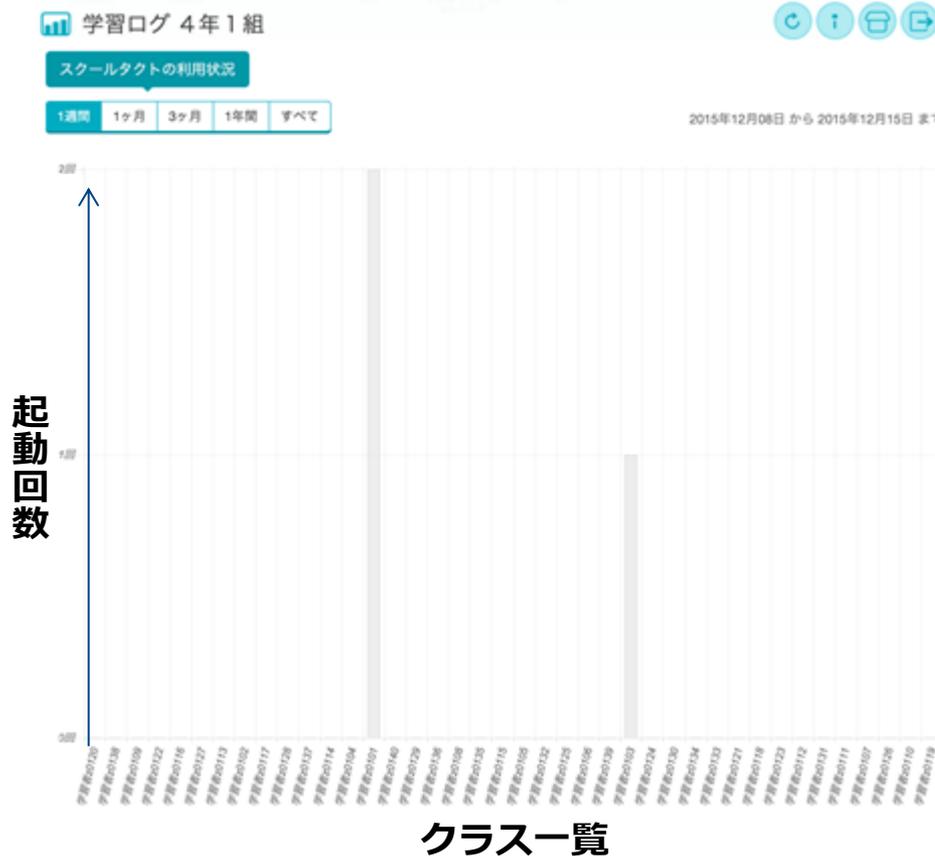


【まなびポケットの場合】



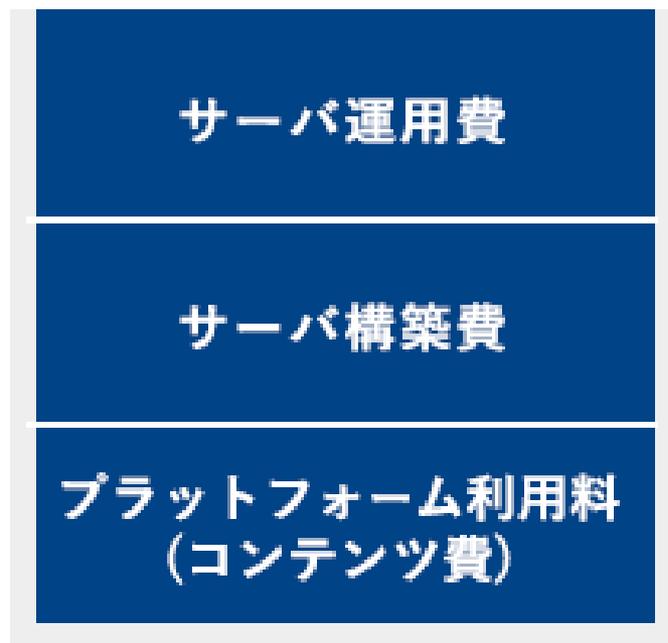
③ 児童生徒の利用状況を把握できる

児童生徒の学習ログ（コンテンツ起動回数）を期間単位でグラフ化
クラス単位 **個人単位**

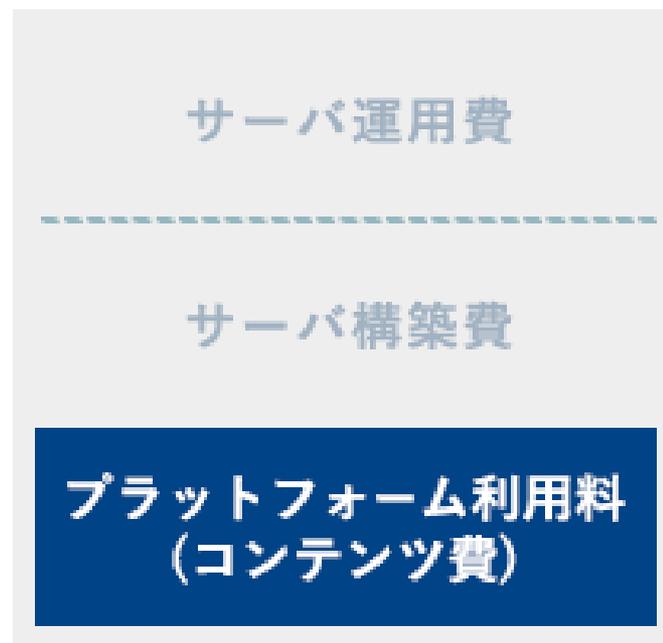


④初期投資が不要

オンプレミス※での構築と違い、コンテンツサーバの構築・運用費用は不要
利用するコンテンツに応じたプラットフォーム利用料のみを、年度ごとに支払い可能



プラットフォーム
一般的なPFサービス
(オンプレミス)



まなびポケット
※料金ご負担イメージ

※サーバ等の設備をお客様にてご用意いただく方式

3. 「まなびポケット」の利用シーン

利用シーン①：学校での学習

ドリルコンテンツ・デジタルコンテンツ・授業支援ツールを活用し、様々な学習が可能（個別学習、グループ学習、一斉学習に対応可能）



利用シーン②：家庭での学習

- ・「まなびポケット」を通じて宿題等の課題を配布可能
- ・家庭学習の状況がリアルタイムに把握でき、質の高い授業設計が実現可能
- ・随時蓄積されていく学習成果を活用し、あらゆる学習シーンにシームレスに対応



宿題、クイズ、お知らせ
アンケートをそれぞれ表示

The screenshot displays the main interface of the NTT Com Elementary School system. The top navigation bar includes a home icon, the school name 'NTT コム小学校', and utility icons for search, help, settings, and logout. The left sidebar shows user information for '児童1' (Student 1) and navigation options for '個別メッセージ' (Individual Messages), 'タイムライン' (Timeline), and '1年1組' (Class 1-1), with '全体' (All) and '字知委員' (Character Recognition Committee) also visible. The main content area is divided into four columns: '宿題' (Homework) with two items due on 02月23日 and 02月28日; 'クイズ' (Quizzes) with three items due on 02月27日 and 02月28日; 'お知らせ' (Announcements) with one item 'テスト' (Test) due on 02月28日; and 'アンケート' (Surveys) with one item '好きな科目は?' (Favorite subject?). On the right, an 'アプリ' (Apps) section lists 'eboard (イーボード)', 'スクールタクト', and four generic 'アプリ' (App 1-4) icons.

児童・生徒と先生とのやりとりを
個別メッセージやタイムラインで
分類して表示

教材コンテンツ
(複数のコンテンツに
シングルサインオン)

【参考】セキュリティを確保したクラウド

通信キャリアならではの高い技術力、豊富なノウハウ
世界トップクラスの通信インフラでクラウド環境を構成

カテゴリ	受賞
企業向けサービス など全般	 
マネージド サービス・ クラウド型 アプリケーション	 
各サービス データセンター・ クラウド	  
ネットワーク	 

* 2016年11月時点

4. お問い合わせ先

アプリケーション&コンテンツサービス部
アプリケーションサービス部門
高山、古尾
TEL : 03-6733-9624
Email : info-ed-cl@ntt.com